

行政視察報告

平成30年5月8日（火） 全議員

- 大空町東藻琴・・・一般廃棄物焼却処理施設
- 大空町女満別・・・一般廃棄物最終処分場
- 北見市端野町・・・愛和産業(株) 産業廃棄物最終処分場

一般廃棄物焼却処理施設について 大空町東藻琴

この処理施設は昭和59年に供用開始、ダイオキシン類削減対策のため、平成15年に焼却施設改造整備を行い現在に至っている。

この施設を供用していた常呂町が北見市と合併し、焼却施設の事業費の返済、維持管理に苦戦しているところに、焼却施設の老朽化で新たな焼却方法を模索していた津別町との互いの利益が一致し、供用していくに至った経緯は、小さな自治体にとって目に見える金額の利益以上に大きなことである。



一般廃棄物焼却処理施設

耐用年数が20年前後で、あと5年から10年は修繕しながら使いたいとのことだが、維持管理経費が高くなるのであれば、新しい焼却施設を考えていかなければならない。

その際には、網走市とも協議し、燃やせるごみの種類が多くなる施設となれば、町民のごみの分別の負担は軽くなる。現在の施設が使えるうちは大事に使用して、将来を見据えた焼却施設についても検討していくべきである。

一般廃棄物最終処分場について 大空町女満別

この最終処分場は埋立面積7千100㎡、埋立容量3万4千900㎡、しゃ水方式は二重シート構造、埋立期間（計画時）は平成16年4月から平成31年3月である。

大空町一般廃棄物最終処分場の処理状況等					
・処理量の推移（t）					
H24	H25	H26	H27	H28	H29
1,268	1,060	1,106	1,041	1,010	916
・埋立地残余量の推移（m ³ ） ※各年8月末現在					
H24	H25	H26	H27	H28	H29
29,367	26,649	23,221	21,328	18,341	17,041

ベッドを解体し、燃えるごみと資源ごみ（鉄くず等）に手作業で分けて埋めるごみを減らしている。実際に各数値を見ても年数を重ねるごみにごみに対する意識が高くなっていることが分かる。

当初15年の計画であったが、5年延長を見込んでいて、更なる延長はあるか聞いたところ、容量の問題ではなく、シートが紫外線に負け、耐久性に難があるので、5年以上の延長は考えていないとのことであった。津別町では、運用当初から紫外線対策を検討すべきである。

産業廃棄物最終処分場について 北見市端野町



一般廃棄物最終処分場

木くず類破砕施設、がれき類破砕施設、廃プラスチック類破砕施設等を有し、産業廃棄物最終処分場ではあるが、真の循環型社会を目指し取り組んでいる。



産業廃棄物最終処分場

【所感】

大量消費文化が続いた私たちに對し、資源の枯渇、環境問題が跳ね返ってきている。しかし、日々の生活で消費も生産も必要不可欠である。そのような中、廃棄物をできる限り再資源化させ、ごみを減らし資源を確保するシステムは、今を生きる私たちの責任を改めて感じた。

資源の再利用化は、手間も時間もお金もかかるが、今が良ければいい、見えない所に埋めればいいというのは無責任、時代遅れとを感じる。津別町も現在、高いリサイクル率ではあるが、できる限りの政策を行政、町民が力を合わせて、子どもたちへの将来の負担とならないよう取り組んでいくべきであると感じた。

（総務文教常任委員会

副委員長）

常任委員会
特別委員会



総務文教常任委員会

第4回（8月30日）

- ・教育委員会委員の選任について
- ・庁舎等建設に向けた対応について
- ・J A事務所建設用地確保に向けた対応について
- ・消防庁舎建設に向けた対応について

産業福祉常任委員会

第4回（8月31日）

- ・平成30年度農業水路等長寿命化・防災減災事業の実施について

複合庁舎建設等調査特別委員会

第14回（7月18日）

- ・契約の締結について（ネイチャーセンター建設工事）
- ・森の健康館及び山村体験宿泊施設の指定管理について
- ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

議会運営委員会

第5回（9月6日）

- ・第4回津別町議会定例会の運営について
- ・平成29年度各会計決算の認定について
- ・意見書等の取り扱いについて

報告された事項

第4回定例会
（9月13日）

- 叙勲
- 「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」策定
- （仮称）北海道立林業大学校誘致活動
- 第6次津別町総合計画の策定
- 津別町ペレット協同組合設立10周年記念イベントの開催
- まちづくり会社の設立準備に向けた取り組み
- 「ハラスメントの防止に関する規程」の施行
- 空き家・空き店舗活用用のエリア・リノベーション・プロジェクト
- 国道240号北鉤橋新設工事
- 森の健康館温泉施設気泡発生装置の停止
- 農作物の状況
- 北海道胆振東部地震の対応
- 建設工事等の発注状況

決算審査特別委員会

第1回（9月14日）

- ・正副委員長の互選について

構成

委員長 巴 議員
副委員長 高橋 議員

委員

小林 議員 村田 議員
乃村 議員 渡邊 議員
山内 議員 佐藤 議員

平成29年度の一般会計、4つの特別会計（国保会計、後期高齢者会計、介護保険会計、下水道会計）、簡易水道事業特別会計の決算について審査を行うため設置しました。

第2回（10月17日）

- ・認定第1号 平成29年度津別町一般会計決算の認定について

平成29年度に実施した「津別町農業者トレーニングセンター増築工事について」協議しました。

議会広報特別委員会

第9回（10月17日）

- ・議会報170号の編集について

議会を傍聴してみませんか

会議当日の受け付けで傍聴できます。
※日程は、町のホームページで確認していただくか、議会事務局へお問い合わせください。

町長行政報告

議会日誌

7月

- 18日 第14回複合庁舎建設等調査特別委員会
- 26～27日 美幌地方自衛隊協力会中央要望・オホーツク圏活性化期成会夏季要望（東京都）
- 31日 第15回複合庁舎建設等調査特別委員会

8月

- 1～3日 新人議員研修会（札幌市）
- 21日 第16回複合庁舎建設等調査特別委員会
- 24日 網走郡下町議会議長・副議長会議（大空町）
- 30日 第4回総務文教常任委員会
網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会（北見市）
- 31日 第4回産業福祉常任委員会

9月

- 6日 第5回議会運営委員会
- 13～14日 第4回津別町議会定例会
- 14日 第1回決算審査特別委員会
- 14日 第17回複合庁舎建設等調査特別委員会

10月

- 17日 第2回決算審査特別委員会
第9回議会広報特別委員会

町のホームページに下記内容の議会情報を掲載していますので、ご覧になってください。

【内容】

議会のしくみ・運営・役割／議会構成／議員紹介／議会報「つべつ」／議決結果／議会開催日程／一般質問議員と質問事項／請願・陳情のしかた／傍聴のご案内／会議録／議長交際費／議会インターネット中継

（村田）

歯車

議会報告会 を開催します

議会では、議会の役割やしくみ、議会の活動内容を広く町民の皆さんに知っていただき、ご意見を聞く機会として、下記のとおり「議会報告会」を開催します。

参加者との懇談の時間も予定していますので、多くの方のご参加をお願いします。

昼と夜の2回の開催を予定していますので、ご都合の良い時間にご参加ください。

開催日時及び開催場所

平成30年11月16日（金）

昼の部 午後2時から（約1時間30分）
さんさん館（大通り）

夜の部 午後7時から（約1時間30分）
さんさん館（大通り）

問い合わせ先

津別町議会事務局TEL 76-2151（内線 265）

意見書

関係行政庁へ
提出しました

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- 教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書
- 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

は ぐ る ま

9月6日未明に胆振東部を震源とする地震が発生した。北海道では初という震度を観測した。これにより、厚真町、安平町、むかわ町、札幌市清田区など広い地域が甚大な被害を受け、同時に北海道全域295万戸が停電となり、二日間に渡りブラックアウトとなった。

あらゆる生活が一瞬にして止まってしまい、とうてい信じられない出来事に戸惑うばかりであった。

大きな被害を受けた地域の復旧はまたまた時間がかかり、全道総被害額は2500億円にのぼり、道内地震災害では最大規模だという。

今回の経験から、毎日当然のように使っている電気の大切さを身をもって知り、災害はどこにでも起こり得るとの認識を新たにし、地域自主防災活動の必要性が浮き彫りになったのではないだろうか。災害を受けた地域の日も早い復旧と正常な暮らしを取り戻せるよう切に願うばかりである。